

黄金色の絨毯

各地で収穫着々と



9月に入り、県内各地で収穫作業が一齐にスタートした。加賀市の(有)吉田農産(吉田義弘代表取締役)は「今年の早生品種は肥培管理に特に気を付けたこともあり、収量が上がった。また、コメの価格下落については世に中の流れに逆らうことはできない。今年産は下落を予想していたため、早期に備蓄米へと転換した。今後もコメ需要が下がる一方で収益性の高いコメ作りをしていかなければならない。」と収穫に対する喜びを感じていると同時に今後のコメ政策についてどのように対応していくのかを模索している様子だった。

いしかわ 農業法人だより



新規会員のご紹介

法人協会では先日開催された理事會にて、和多真智理事(和多農産)より推薦のあつた農事組合法人タイガファーム(代表理事 中村宇一郎氏)の入会を満場一致で承認した。

中村氏は「今後の事業拡大を目指し、他の経営者や関係団体との交流や情報交換を行いたい」と入会を希望した。当法人の入会により協会員数は71社となった。石川県農業法人協会では正会員、賛助会員、アグリサポート会員を随時募集している。



本だよりの配布対象
会員、賛助会員、アグリサポート会員、各関係機関
会員の皆様へ

「いしかわ農業法人だより」のメール配信を希望する方は、協会事務局の牧野、山越、吉田までご連絡
お願いいたします。

牧野: gmakino@inz.or.jp

山越: y-kazuki@inz.or.jp

吉田: syogo-y@inz.or.jp

10月中に地区活動の開催を

組織活性化委員会(宮崎委員長)はコロナ禍で開催を見送っていた地区活動を再開させ、支部活動の強化に努める方針を示した。

宮崎委員長によると「各地域の困り事や意見を集約し、石川県農業の発展や、このコロナ禍を乗り越えていきたい。それが当協会の役割であり、その核となるのが当委員会。これを機会に多くの会員が参加し発言することを期待している。また、それらを踏まえて各委員会に共有し、課題解決に向け邁進していきたい。」と委員会活動に意欲的だ。

各地区の担当理事は以下の通り。

- 南加賀地区 吉田 義弘
- 石川地区 佛田 利弘
- 井村 辰二郎
- 宮野 義隆
- 中能登地区 濱田 栄治
- 裏 貴大
- 奥能登地区 宮崎 数馬
- 瀬 爪 忠
- 林 浩陽



昨年の地区活動の様子